

地域実践活動事例報告シート

平成27年度	<input checked="" type="checkbox"/> 北海道ブロック <input type="checkbox"/> 東北ブロック <input type="checkbox"/> 関東甲信越ブロック <input type="checkbox"/> 東海北陸ブロック <input type="checkbox"/> 近畿ブロック <input type="checkbox"/> 中四国ブロック <input type="checkbox"/> 九州ブロック									
建築士会名 (支部等含む)	(一社)北海道建築士会 小樽支部			事業名	第18回 小樽雪あかりの路					
●活動の種別	<input type="checkbox"/> 建築物調査、保存・再生 <input type="checkbox"/> 景観形成、街並み保存・修景 <input checked="" type="checkbox"/> 地域活性化 <input type="checkbox"/> 教育・人づくり <input type="checkbox"/> 防災まちづくり <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザイン <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 住まいづくり <input type="checkbox"/> 住環境整備 <input type="checkbox"/> 会員拡大 <input type="checkbox"/> 建築士(会)の周知 <input type="checkbox"/> 次世代育成 <input type="checkbox"/> その他()									
●企画運営団体	<input type="checkbox"/> 上記建築士会名 <input checked="" type="checkbox"/> その他(小樽雪あかりの路実行委員会)									
●活動の背景	小樽支部 青年委員会の活動として第1回より「雪あかりの路」に関わり、ボランティアとして地域に貢献してきた活動、小樽支部青年委員会としても一番のメインの活動です、近年増加する外国人観光客に(本年度来場者数54万人)小樽の魅力を発信出来ればと行っています。									
●活動目的	活動の目的は、官民一体となったボランティア活動に今は、韓国・中国人ボランティア日本の学生ボランティア・青年会議所や地域の一般ボランティアと協力し、意見交換をしながら成長性のあるイベントへと毎年進化させ、イベントの中心的役割を果たしています。									
●活動内容と成果	第18回 小樽雪あかりの路 開催期間 平成28年2月5日～14日の 10日間(17:00～21:00) 活動内容は、会場全体のレイアウトから始まります。建築士のスキルを生かして小樽雪あかりの路手宮線会場の作図を毎年行います。会場整備や安全対策はもちろん、全日程10日間にも及び雪のオブジェの製作・維持管理を行い、外国人ボランティアの指導に努めます。建築士会活動資金捻出するため屋台を設置し運営も行います。成果としては、やはり冒頭からの官民一体化となり同じ事を行う事により、絆が深まり士会活動が活性化に繋がると思います。観光の街小樽、小樽市民として、日本各地、海外からの観光客へのおもてなし精神も養えるイベントです。									
●集客方法										
●活動収支	収入	屋台チケット前売り分+当日売上(約¥900,000)						支出	¥850,000	
●来場者	運営側	建築士会	他団体	計	参加者	会員	建築士	一般	子ども	計
		のべ280人								
連携・協力組織	小樽雪あかり実行委員会 他									
										
写真① 会場状況					写真② 設営状況					
●今後の課題	一番の課題は、会員不足よりも風間からの雪のオブジェ制作維持管理です。ろうそくの熱で一晩で壊れてしまいます。毎日の維持管理をサラリーマンボランティアの僕たちだけで、10日間の維持管理は不可能に近いが、外国人ボランティアの手助けもあり毎年収まっている									
●今後の計画	第20回に向けて、違った目線、発想で「小樽雪あかりの路」を支えて行きたいと思います。									
問い合わせ先	(一社)北海道建築士会 小樽支部					担当者 近藤 真人				
連絡先	TEL 0134-23-6221		FAX 0134-33-8621		e-mail m.kondou@saijosangyo.co.jp					
ホームページアドレス										